

現場には学びがいっぱい ～視察記録～

コロナでなければもっとも訪ねたいところがありましたが、感染状況をみながら無理のない範囲で視察に出かけました。

2019(令和元年)

- 7/5 徳島西消防署 高規格救急自動車視察 ①
- 7/12 川内地区津波避難場所視察 ②
→令和2年10/20一般会計決算審査特別委員会で取り上げる
- 7/18 愛媛県今治市/今治クリーンセンター視察 ③
平成30年3月竣工した今治市の施設見学と取り組みの視察
本市の課題である広域ごみ処理施設整備事業を検討するにあたって
- 7/24-25 全国市町村議員研修参加 ④
自治体決算の基本と実践・行政評価を活用した決算審査
今後の決算審査特別委員会の参考とするため
- 7/30-31 防災減災対策先進地として、川崎市・葛飾区を視察 ⑤
- 11/4 株式会社キョードーファクトリー訪問
民間による阿波踊り運営について意見交換
- 11/6 石川県金沢市中央卸売市場、羽咋市産業建設部6次産業創生室視察
他都市の中央卸売市場と6次産業化に向けた取り組みについての調査
- 11/13-14 国土交通省へ飯尾川改修他について要望書提出



2020(令和2年)

- 1/28-31 本市管理の佐古・内町ポンプ場視察
老朽化した公共下水道の現状を把握し、今後の更新計画の検討へ
- 2/6 高知県香川郡いの町立伊野小学校視察 ⑥
菊池学園の取り組み「ほめ言葉のシャワー」に感動
- 8/4-5 市内公立保育施設視察
保育施設の現状把握のため
- 8/21 徳島市北部浄化センター・八万・福島・常三島ポンプ場・矢三西雨水排水ポンプ場視察 ⑦
公共下水道の現状把握→令和2年9/14&令和3年6/15定例会代表質問へ
- 8/29 第十浄水場視察
浸水対策について学ぶ

2021(令和3年)

- 10/26 とくしま動物園視察
現状把握のため

市民の皆様と二人三脚で

道路や水路の改修・維持管理に関すること、里道や水路など法定外公共物の取り扱い、市役所への申請や届出の手順、地域での事業に関わる補助事業の有無など、市民の皆様から暮らしの中の様々な問題についてのご相談やご要望をいただいています。これにお応えするために関連法令や地方自治法・条例を紐解き、行政手続きに触れ、多くを学び、皆様からいただく意見や課題を議員活動のエネルギー源として成長させていただいていることを

実感しています。これからも皆様のお声を提言として行政へ発信し続けてまいります。どんなことでもお気軽にお声かけいただき、ともに笑顔の明日をつくってまいります。

お気軽に電話ください！
携帯電話 090-3782-6602

profile

- 昭和32年 5月28日 現徳島市国府町川原田に生まれる
南井上小学校・国府中学校卒業
- 昭和53年 国立阿南工業高等専門学校 電気工学科卒業
(株)四電工 入社
- 昭和62年 (株)四電工を退社し、(株)徳水 設立
- 平成31年 4月 徳島市議会議員選挙初当選
- 令和元年 5月 総務委員会委員
防災対策特別委員会委員
- 令和2年 6月 建設委員会副委員長
まちづくり対策特別委員会委員
図書室運営委員会委員長
- 令和3年 6月 建設委員会委員
防災対策特別委員会副委員長

趣味……………油絵創作・絵画鑑賞
好きな言葉……………一意専心

本田泰広後援会事務所

〒779-3117 徳島市国府町日開東432-2
tel.088-661-1212 fax.088-621-1213
hp.090-3782-6602
<http://wwwc.pikara.ne.jp/honda-yasuhiro/>

今日より明日 笑顔になれる徳島へ

行政と市民が繋がり合って 安全なとくしまづくりを

平成31年4月徳島市議会議員の任をいただき、この間、徳島市の抱える多岐の課題に向き合ってきました。本会議での三度の会派代表質問、二度の個人質問のほか、委員会質疑などで様々な問いかけ、提案してきました。もともと建築分野に多少なりとも知識があったことから、常任委員会では建設委員会に、特別委員会では防災対策特別委員会に所属し、街づくりやライフラインの維持管理についての勉強に力を注いでいます。近年、全国的に自然災害による被害が激甚化する傾向にあり、特に浸水被害が多発。水都&しまにとっても他人事ではないとの思いを強くしています。また、インフラや公共施設の老朽化が大きな課題。更新となれば多額の財政負担が避けられず、適切な維持管理や長寿命化対策、さらに施設の統廃合も視野に入れた持続可能な対応が求められています。防災減災対策では、ハード整備には限界もあることから、避難を軸としたハザードマップの策定や、地域避難支援マップの早期策定を要望してきました。災害発生時には共助も重要であり、この原動力となるのは地域コミュニティです。地域コミュニティが生き生きと機能するよう、地域活動へのこれまで以上の行政支援が必要と考えます。

<防災・避難・地域コミュニティ>行政と市民が繋がり合って安全なとくしまづくりが実現するよう、市民の皆さんが安心して笑顔で暮らせる徳島市をめざして活動してまいります。

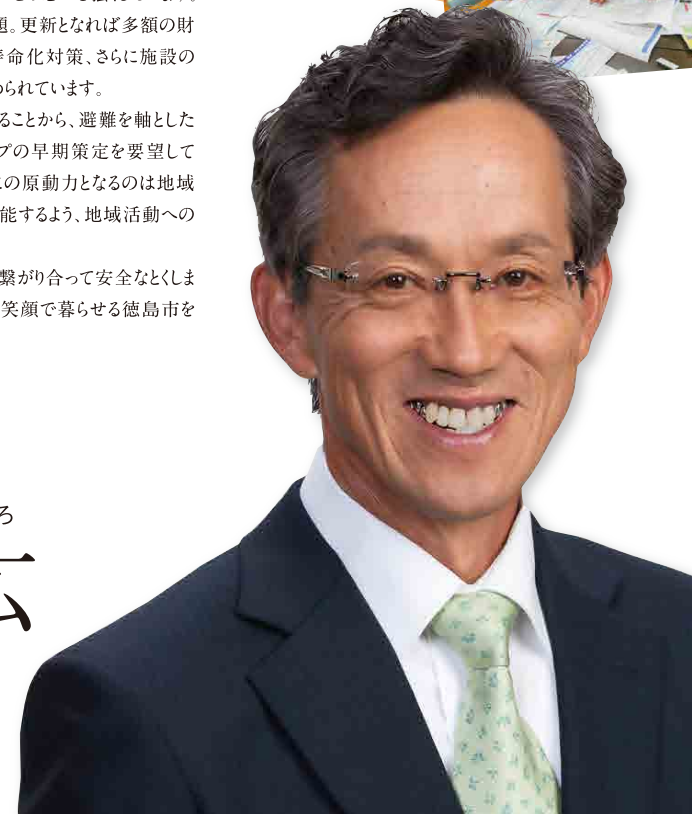
徳島市議会議員

ほんだ やすひろ

本田泰広

活動報告vol.1

討議資料



本田やすひろ3度の会派代表質問と2度の個人質問の記録

2019

(令和元年)

6/13~27

9/9~25

9/12

12/5~19

6月定例会議

●新ホール整備事業予算など10議案

9月定例会議

●新産業振興施設整備など39議案

会派代表質問

12月定例会議

●上下水道事業統合に伴う条例議案など31議案

●一般・各特別会計・企業会計決算認定

会期延長

●新ホール建設に伴う付帯決議案提出

その後の経過

令和元年6月定例会議で新ホール建設予算を承認したが、県との土地問題が浮上したため問題解決をし、予算執行するよう申し入れを行った。以降、土地問題は解決されることなく、令和2年4月の市長選挙後、県市協調によるホール整備事業が9月より動き出した。

内容

「徳島市立地適正化計画*」における課題:下水道事業のあり方・保育所及び幼稚園の再編計画・徳島市新産業振興施設整備計画と木工会館の今後・地域コミュニティの担い手不足・防災対策について

*「徳島市立地適正化計画」とは、人口減少や高齢化が進行する中、将来にわたり誰もが安心して快適に生活できるまちづくりを進めるため、都市計画法に基づく市町村マスタープランの一部として策定されたものであり、2040年を目標年次として穏やかに居住や都市機能を誘導する計画

重点01

結果のしたこと

水防法改定に伴うハザードマップの早期策定を要望

→令和3年10月

市内全戸配布完了



2020

(令和2年)

3/5~19

3/11

4/5

4/16

5/8~28

6/11~25

8月末

9/10~28

9/14

10/20~23

11/30~12/14

3月定例会議

●令和2年度徳島市一般会計予算など33議案

個人質問

徳島市長選挙 内藤市政スタート

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため全国に緊急事態宣言発出

臨時会議

●新型コロナウイルス感染症対策他

6月定例会議

●教育保育施設等整備費補助事業の見直しなど21議案

●議長・副議長選出他

そごう徳島店閉店

9月定例会議

●新型コロナウイルス感染症対策など31議案

会派代表質問

一般会計決算審査特別委員会

●前年度予算の執行状況について審査

●翌年度への改善点など指摘及び要望

11月担当部・課へ要望

12月定例会議

●高齢者を対象にインフルエンザ予防接種費用の無償化、市職員、市議会議員の期末手当減額する条例など24議案

●一般・各特別会計・企業会計決算認定

内容

自然災害対策・耕作放棄地対策について

重点02 重点03

内容

行財政改革・待機児童対策・上下水道事業統合・防災減災対策・そごう徳島店の営業終了に伴う取り組みについて

重点04 重点05 重点06

内容

ふるさと応援寄付金事業(ふるさと納税)・広報費・公共施設更新計画・下水道事業について

結果のしたこと

市民サービス向上に向けた行政改革として保健福祉部(子育て部門と福祉部門)の分割を提案

→令和3年4月「子ども未来部」と「健康福祉部」の誕生へ

国民健康保険被保険者証と後期高齢者医療被保険者証の有効期限の統一を要望

→令和4年8/1より統一開始予定



2021

(令和3年)

1/26

3/4~18

6/10~24

6/15

9/6~21

11/30~12/16

臨時会議

●徳島都市開発(株)への10億円貸付について

3月定例会議

●新型コロナウイルス感染症対策、徳島都市開発(株)への追加貸付10億円についてなど43議案

新町西地区市街地再開発事業損害賠償請求訴訟関連議案

高松高等裁判所の和解案に応じて4億1千万円支払決定

6月定例会議

●新型コロナウイルスワクチン接種事業、子育て世帯への支援など29議案

●議長・副議長選出他

会派代表質問

防災対策特別委員会副委員長に就任

9月定例会議

●新ホール整備関連予算など30議案

●市の事務執行に対する市議会議員の関与に関する調査特別委員会の設置を求める議決

建設委員会

12月定例会議

●新町西地区市街地再開発事業に対する補正予算など96議案

●一般・各特別会計・企業会計決算認定

個人質問

内容

新型コロナウイルス感染症対策・待機児童対策・徳島市重要課題等に係る外部評価委員会の提言・公共下水道事業及び市街地調整区域内の農業用水路・そごう徳島店撤退後の対応・地域における生涯学習拠点・郷土の誇り阿波踊りについて

重点07 重点08

内容

新町西地区市街地再開発事業に係る訴訟の提起について審議→訴訟提起には反対を表明する

徳島市上下水道局庁舎整備事業審査講評について質問→4ヶ月の工期短縮提案事業者を高評価した結果との答弁を得る

内容

徳島市公共施設等総合管理計画について質問

個別施設計画の早期策定と更新事業の着手を要望

付託委員会にて、徳島都市開発(株)への合計20億円の貸付について、徳島市のチェック機能強化及び情報開示を要望



重点質問項目
重点01 徳島市立地適正化計画 2040年の目標値に向けて、プラン・ドゥー・チェック・アクションで実践していかねばならない。＜笑顔がおどる「育・職・住」近接の安心まちづくり＞の達成のために、市長はもとより、職員、議員すべての英知を結集し議論を重ねていきたい。
重点02 自然災害対策 自然災害の脅威に対して、ハード面では減災が、ソフト面では命を守る避難が最重要である。
重点03 耕作放棄地対策 農地で耕作放棄がすすめば2~3年で雑木林のようになり治水機能が失われる。水路管理が疎かになることで排水機能が低下し大雨ですぐに冠水、道路や住宅部が浸水する。耕作放棄の増加は、減災対策の観点からも大きな問題だ。本市の実施した「農地プランに関するアンケート調査では、回答者の農地面積の約48%で後継者不在とのこと。今後、より深刻になる中、定年後、新たに農業に取り組む方もおられるのだから、農業次世代人材投資事業の活用年齢緩和について、国、県に対しての働きかけを強化すべき。
重点04 待機児童対策 待機児童解消のためには、＜ネハード整備より保育士の確保＞幼稚園の預かり時間の延長や給食の提供など利用者ニーズへの対応も公・民合わせた適正な施設配置や整備が必要＞など、我々の会派の問題提起が見直し案に盛り込まれたことを評価する。が、国の統計がすべての実態を反映しているわけではなく、市独自の視点で待機児童数の定義を検討するなど実態把握の上、真の待機児童解消に向けて取り組んでほしい。
重点05 防災減災対策 令和2年8/21の市内4か所のポンプ場・排水機場現状視察(※裏面視察記録参照)を踏まえ、施設の老朽化対策や耐震化の必要性を指摘。令和3年度を目標に、現在策定中の個別施設計画をもとに徳島市公共施設等総合管理計画を見直すとのことだが、現地を見てすぐにも更新に向けて対処すべきと感じている。今後50年、100年と安心して住み続けられる徳島市をめざすために、新たな更新計画策定及び事業実施に向けた早急な対応を強く要望する。
重点06 下水道事業 公共下水道事業は昭和23年の事業計画認可から72年の歳月と約1,240億円の事業費を費やしており、さらに北部処理区整備の総事業費は約500億円、約50年が必要であるとの試算だ。加えて、現存施設の更新費も相当な額になる。令和2年度からの下水道事業の企業会計化及び上下水道事業の統合を機に、今後の下水道事業計画は、慎重に協議・検討してもらいたい。
重点07 広域ごみ処理施設整備事業建設候補地の見直し 南海トラフ巨大地震が起きれば、徳島県では2058万トン、四国全域では7200万トンもの災害ごみの発生が予測されている。早期復興に向けては、大量の災害ごみの処理も課題であり、既存施設の老朽化を考えれば、早急な対応が求められる。広域ごみ処理施設の早期整備に向けた取り組みをスピード感を持ってすすめてもらいたい。
重点08 市街地調整区域内の農業用水路 市街地調整区域では、水路が農業生産基盤としての位置づけのため、農家の方々が主体的にその維持管理を担ってきたが、農業従事者の高齢化や都市化が進むエリアでの住民の意識の違いもあり、管理不備による内水氾濫の可能性も高まりつつある。持続可能な水路の維持のため、行政も交えた、関係団体や地域住民との連携による管理体制構築の必要性を指摘。

